

1. 概要

能登の里山里海は、海と山の恵みに支えられた暮らしと文化が息づく特別な地域であり、世界農業遺産にも登録され人と自然の共生の証である。北前船の時代には海運の要所として栄え、その繁栄は祭礼や建築に刻まれている。2024年の能登半島地震と豪雨は、長年の営みに甚大な被害をもたらした。家屋や集落の損壊により多くの住民が避難を強いられたが、山の水や自然の恵みに支えられた循環的な暮らしを続ける人々もいた。

畑や田を再び耕す営みは、能登に根づく生き抜く力の象徴である。復興の現場ではインフラ整備や住宅再建が進む一方で、本質的には「何を生かし、何を残し、何を創り直すのか」が問われている。高齢者の知恵や経験は貴重だが、人口減少と高齢化で継承が難しくなっている。豊かな資源を単に復旧するのではなく、未来へどう結びつけるかが重要である。南三陸町で培われた自然共生型の復興の知恵は能登にも通じ、両地域の経験を共有・考察することが、日本の地方社会の持続可能な未来に寄与すると考える。

2. 能登の里山里海とは

- ・石川県北部に広がる日本海に大きく突き出た「能登半島」
- ・海と山の恵みを受ける人と自然がともに支え合う暮らしが息づく
- ・北前船の時代に栄え、祭りや伝統工芸、食といった地域文化が残る
- ・2011年6月に日本で初めて世界農業遺産 (GIAHS) に認定

外浦

海岸段丘と断崖
浸食と隆起



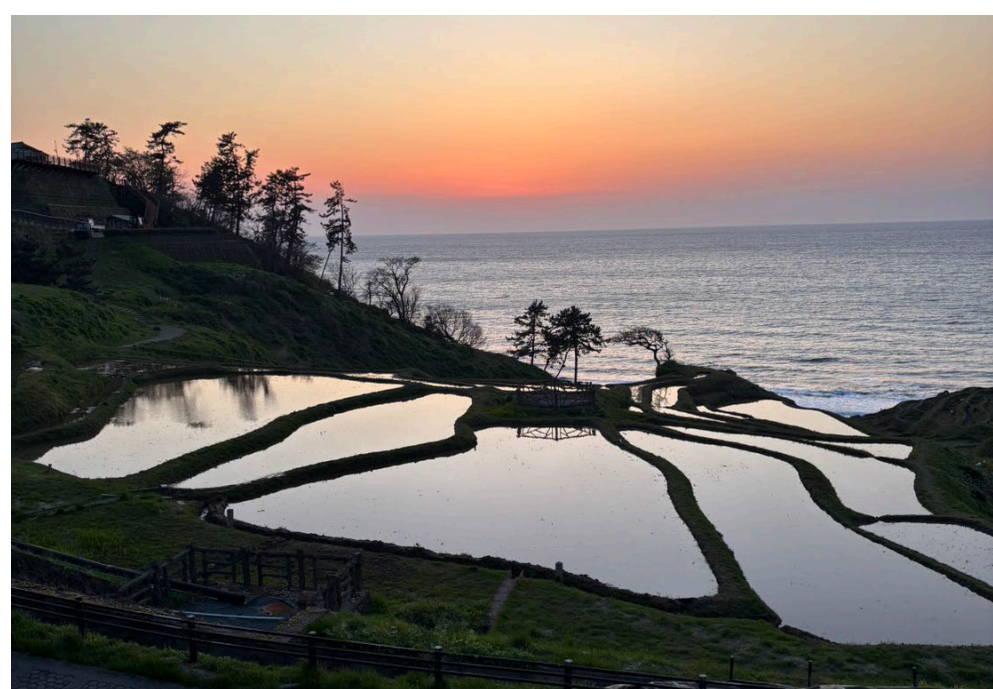
内浦

入り組んだ
静かな海岸線
穏やかな丘陵地
地盤の沈降

南北約130km
横幅最大約50km



同縮尺の南三陸町周辺



外浦に広がる棚田の景観



豊漁豊作を祈願するキリコ祭り

長い時間をかけて、
自然と調和した人の営みがつくりあげたもの



5. 終わりに

能登のことを知っていただき、東北が積み復興の重ねてきた軌跡から学び、共に持続可能な里山里海の未来を描いていけたら嬉しいです。

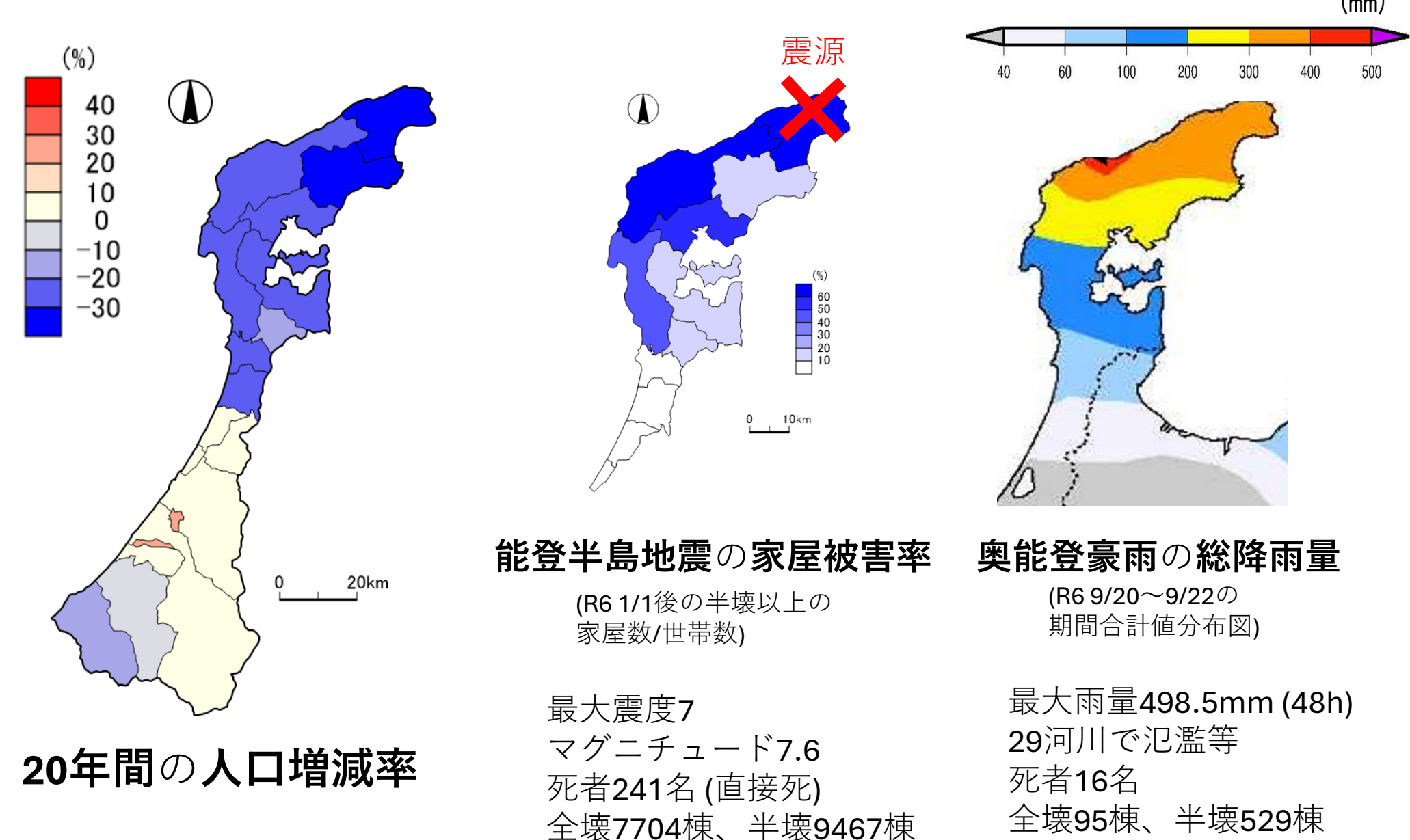
南三陸町にも通い続けます。

能登にも来てください！！！！



さんさん商店街の皆さんが
支援してくださった七尾市
の「一本杉通り商店街」

3. 地域課題×災害ダメージ



- ・長期的な人口減少と高齢化が進行、高齢化率が50%を超えていた市町も
- ・災害が社会的課題を抱えた地域の暮らしと文化に深刻な打撃を与えた
- ・隆起・沈降による漁港の被害、土砂災害や田んぼ、家屋の被害も
- ・広域避難が展開され、既存の集落機能や里山里海の維持が困難に

- ・インフラ断絶も、山水や畑の作物で暮らし続ける高齢者の姿
- ・「能登らしさ」や地域資源を再考する動きが加速
- ・支援受入の経験を基盤に、長期的関係人口創出や移住者も
- ・新たな共助と里山里海の持続の形が生まれつつある

3. 復興に向けた「タネ」

能登の里山里海への関わりしろ



地元大学

- ・調査・実践を通じて地域課題を俯瞰し、現場知を学術的に可視化
- ・地域に根差し、学生や研究者が主体的に関わる場を創出
- ・行政・企業・住民等多様な主体と協働し、「橋渡し役」を担う
- ・地域資源と文化を未来へつなぐ知の蓄積と人材育成を推進

持続可能で多様な関係性に支えられた、
里山里海の広がる地方の未来の創出

[参考文献]

- ・総務省統計局(2020): 国勢調査 町丁・字等別境界データセット(2020年), e-Stat.
- ・国土地理院(2025) <https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>
- ・世界農業遺産活用実行委員会 世界農業遺産『能登の里山里海』情報ポータル https://noto-giahs.jp/giahs_noto.html
- ・Fukushima, H., Ishimura, D., Takahashi, N., Iwasa, R., Malatesta, L. C., Takahashi, T., Tan, C. H., Yoshida, K., & Toda, S. (2024). Landscape changes caused by the 2024 Noto Peninsula earthquake in Japan. Science Advances, 10(49), eadp9193.
- ・柳井清治 (2014). 石川県能登半島の歴史と景観の形成過程. 景観生態学, 19(2), 161-168.